

平成30年度各区活動概要

【資料①】

	堺区	中区	東区
年間テーマ	当事者の思いを大切に、ライフステージにあった支援を考える。生涯を応援するネットワークを模索する。 「指定特定事業所との事例検討・共有からみる地域課題」を通して議論を進める。	なかきょー 『連携支援を考えよう～つなげよう 広げよう 造り出そう～』  指定相談交流会 “なかくのしゃべり場”～本音deトーク、増やそうひきだし～	地域の住民・事業所との協力体制を築き、共生社会の実現を目指す
主な活動内容	<p>●4月18日 代表選出・自己紹介・年間計画の検討 指定連絡会において何でも共有シートを活用、事例等や困りごとを共有。その後、協議会にて専門機関等から困りごとに対してアドバイスや、活用可能な社会資源の情報提供を行っていくことを検討。</p> <p>●5月18日 市域向け研修「障害者自立支援協議会とは」 講師：滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 中島秀夫氏 協議会の仕組みや、個別支援計画と地域課題の連動についての研修会を開催。</p> <p>●7月18日 防災について 大阪北部地震と大雨の影響について各機関の動きや対策について情報共有を行う。ヘルプカードの啓発について議論。</p> <p>●9月19日 防災について 台風22号の影響について事業所の動きを共有。なんでも共有シートにて困りごとを共有・社会資源等の情報提供。（日常生活自立支援事業・ペット問題）</p> <p>●11月7日 なんでも共有シートにて困りごとを共有・社会資源等の情報提供。（アセスメントシートについて・A型事業所を中心とした就労についてのテーマを議論）</p> <p>●1月23日 なんでも共有シートにて困りごとを共有・社会資源等の情報提供。（堺区でのセルフプラン・障害福祉サービスの支給決定状況・A型事業所の情報集約について議論）</p>	<p>◎定例会議（全4回）5月、9月、12月、3月 前半に毎回各部会の進捗、取り組み報告を行い、後半は課題検討等を行っている。 ・「連携支援について」の課題やつぶやきを集約、整理 ・障害者×高齢者複合世帯の事例検討 ・防災について、住まい探しについて情報、意見交換</p> <p>◎指定相談交流会（毎月開催） ・みんなで情報共有できる場、参加しやすい場を目指し、90分の交流会のうち、前半に困っていることやケースの相談・共有、その他情報交換等を行い、後半に当月の取り組みを行う。</p> <p>【取り組み内容】 ・事例検討 ・地域活動支援センター見学会 ・児から者への移行 ・介護保険への移行 ・支援学校との交流会 ・報酬改定 ・地域移行支援 ・防災 ・阪南病院見学会 ・ケアマネ連絡会と交流</p> <p>◎作業所交流会（奇数月開催） 中区内で作業所のネットワーク作りを目的に、各種取り組みを行っている。昨年度に引き続き、二つのワーキンググループに分かれて検討。 ①イベントグループ ・ナカ・ナカマ♡ネットワーク（区役所にて啓発パネル展示、自主製品販売）の開催。（年3回） ・なかくの当事者交流会の開催 9月中消防署講堂にて</p> <p>②情報・交流会グループ ・情報→見学依頼シートの作成（作業所同士の見学調整）、ナカ・ナカマ♡がいどぶっくについて ・交流会→支援学校との交流会開催（堺支援、泉北高等支援学校）</p>	<p>○防災 作業所間の協力体制を築くために、まずは各事業所の防災マニュアルを共有するところから始めることに＝依頼中</p> <p>○高齢機関との連携 9月に「障害者関係機関と高齢者関係機関との交流会」を実施、架空事例を基に自由に意見交換 相談窓口・相談時期、協力体制等を確認</p> <p>○障害理解（地域活動） ・地域住民に向けた「出張勉強会」のチラシを作成 ・区民まつり、支援センターしらさぎまつりに出展 ・地域活動の担い手交流会に参加（民生委員等の地域住民、地域の企業、地域包括支援センター、障害関連機関等が参加）</p> <p>○事例検討 ・指定相談事業所4か所から事例提供（児童（自閉症）、恋愛、機関連携、家族連携） ・地域課題の集約にはつながらないため、「障害者の生活の課題」について別枠で集約する</p>
その他（成果物等）	堺区におけるヘルプカード啓発の為にリーフレットについて引き続き作成中。  その他 定例会前に協議会運営会議を開催。（4回開催）	◎ナカ・ナカマ♡がいどぶっく（中区内作業所情報冊子）の更新	・地域住民に向けた「出張勉強会」のチラシ